

医師・看護師・介護職員の大幅増員を 日本医労連増員闘争ニュース

第 126 号
2011 年 4 月 28 日
日本医労連増員闘争本部
TEL: 03-3875-5871
FAX: 03-3875-6270

増員・夜勤改善署名52万、メーデーは宝の山



いよいよ5月突入、「増員・夜勤改善」署名の追い上げに全国頑張っている。高知は4月16日の行動で309筆、愛媛は26日に16名が参加し129筆集めました。全医労豊橋医療センター支部は、夜勤点検委員会を行ったあと、みんなで「署名もっと頑張ろう」と4月16日、5月15日にプラスして5月18日にも行うことにしました。愛知は、「何としても目標突破」と猛ダッシュです。(左は4.16の全医労豊橋のみなさん)

新ゼッケンで行動

各県医労連に新しいゼッケンをお送りしました。早速、愛知から「みんなで使おう」と写真が届きました。書記局3名で昼休憩中に事務所近くの団地にも署名をポスティングしたとのこと。本部も、メーデーはもちろん、5月12日の「看護の日」に入谷駅前でも署名・救済募金の行動を決定しました。5月ナースウェブに向けて頑張らしましょう！！



愛知のみなさん

和歌山は第6弾行動



和歌山は「いのちを守る」署名活動第6弾として、4月9日 JR 和歌山駅前でも署名・宣伝行動を行い、1時間で72筆集めました。5月のスリーウェブ行動に向けて、準備を行っています。

★県看護協会会長と懇談

また、4月19日には県看護協会を訪問し、スリーウェブ行動への協力を要請しました。木村会長は看護師確保について、「7対1で環境はよくなるが、看護師の取り合いが起こっている。中小病院は確保ができない。看護協会の事業で、8県で職場環境を見直して来たが、今働いている人が続けられるようにすることが大事」と話しました。

★和歌山市医師会と懇談

和歌山市医師会にも訪問し、事務局長に面会。「看護学校の募集状況はここ2~3年、定員の3倍ぐらい。紀中にも看護学校が1つあってもいいのでは。教員の確保、実習病院、外部講師の確保が大変。学校は儲けることができないから持ち出しになっている、医師会立であるのに医大や日赤に就職し、会員のところにはほとんど行かない状況だ」など、状況を伺うことができました。共同の取り組みにはまず懇談ですね！！